

「一般感染症における各種培養検体取得、菌検出割合、 菌種同定後の抗微生物薬 de-escalation と使用期間の現況に関するデータベース研究」 実施に関するお知らせ

国立病院機構本部総合研究センター診療情報分析部では、患者様に提供する医療の質の向上を目的として、国立病院機構臨床研究中央倫理審査委員会の承認のもと、国立病院機構に属する各病院内の電子カルテ等診療情報を活用した分析研究を東京大学と共同で実施することとなりました。研究の内容は以下のとおりです。

1. 研究の目的と意義

一般的な感染症である、肺炎・尿路感染症・腹腔内感染症・敗血症における各種培養検体（痰・尿・お腹の膿みなど）の取得状況、病気の原因となっている原因菌の検出割合、原因菌判明後のターゲットを絞った抗生剤使用と抗生剤使用期間の現況を記述し、何が予後と関連しているかを分析し、原因菌に合わせた抗生剤の最適な使用法を提言することがこの研究の目的です。これにより医療機関での抗生剤の使用方法改善、耐性菌（抗生剤の効きにくい菌）の発生予防に貢献できます。

2. 研究の概要

本研究の対象となるのは、2016年4月～2019年3月の間に国立病院機構診療情報集積基盤(NCDA)を運用する医療機関に入院し、肺炎・尿路感染症・腹腔内感染症・敗血症と診断された患者様です。本研究では、①NCDAにより集積された診療情報（年齢、性別、病名、薬の処方、検査結果など）、②診療報酬明細書のデータ、③「DPC導入の影響評価に関する調査」に提出しているデータ、を利用させていただきます。本研究は、日常診療から集積された既存の診療情報を二次的に利用するものであり、新たに患者様に何らかの負担が生じることはございません。

3. 個人情報の保護について

本研究で利用させて頂く個人情報等は、個人が直接特定できない匿名化情報として加工し厳重に管理・保護いたします。プライバシーに係る個人情報が外部に漏洩することは一切ございません。

なお、本研究の成果に関しては、患者・国民の皆様や外部組織への公表、医学的な学会での発表や専門的な雑誌での報告を行うことがあります。集団を記述した数値データとし、患者様個人が同定されるデータを公表することは一切ございません。

本研究の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。ご自身の情報が本研究に利用されることにご了承いただけない場合、研究計画書及び研究に方法に関する資料の閲覧をご希望される場合、本研究で利用する個人情報の開示等を希望される場合、または本研究についてご質問がある場合は、下記窓口までご連絡ください。代理人の方からのご連絡も受け付けております。それらの場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。

【問い合わせ窓口】

国立病院機構本部 総合研究センター 診療情報分析部 山名隼人

〒152-8621 東京都目黒区東が丘2-5-21

TEL : 03-5712-5133

第1.0版 2020年1月10日